

昔話から読み解く文化的価値観の相違
ー 日本昔話・グリム童話・イソップ寓話の比較研究 ー

堀 美佳

本研究は、日本昔話・グリム童話・イソップ寓話を比較対象とし、物語に反映された文化的価値観の相違と共通点を明らかにすることを目的とした。宗教的背景、善悪観、死生観、家族観の4つの視点から分析し、それぞれの物語が成立した文化圏の価値観や社会構造との関係を考察した。

日本昔話には、神道と仏教が習合した自然観や因果応報の思想が見られ、自然との共生や共同体との調和が重視されている。一方、グリム童話にはキリスト教的世界観に基づく明確な善悪の対立や神の裁きが描かれ、秩序と道徳を重んじる価値観が強く表れている。イソップ寓話では、宗教色は比較的薄く、人間の普遍的な行動や教訓が簡潔かつ論理的に提示されている点が特徴である。

三者を比較することで、文化や宗教の違いが物語の構造や教訓の表現方法に影響を与えていることが分かった。また、正直さや思いやりといった価値観が文化や宗教の壁を超えて共通して語られているということも明らかになった。以上より、昔話や童話は各文化の価値観を映し出す「文化の鏡」であると同時に、人間社会に普遍的な教訓を伝える教育的意義を持つ物語であることが示唆された。